

図書館員のひみつの本棚 第134回

今回は久しぶりに中高生から大人向けの本をご紹介します。

『そして、ぼくは旅に出た。』

大竹 英洋／著 あすなろ書房 2017年 2052円

<お勧め年齢>

乳幼児—— 小低学年—— 小中学年—— 小高学年—— 中学生☆☆  
高校☆☆☆ 一般 ☆☆☆

(☆が多い年齢の子どもにお勧めです。)

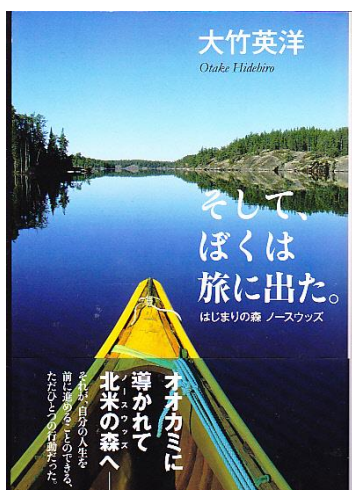
<本の紹介>

現在は写真家である著者の原点となる旅の記録。

写真家を志望しているものの、写真の勉強なんてほとんどしたことがない。そんな著者が、大学4年生の秋にたった一度見たオオカミの夢に導かれるように、世界的な写真家ジム・ブランデンバーグに弟子入りを請うべく、日本ではほとんど知られていない北米の湖水地方ノースウッズへと旅に出る。

もちろんジムとは面識なんてない。オオカミの夢を見た後、オオカミのことをもっと知りたいと思い図書館に行き、偶然見つけた彼の写真集を見て感動し弟子入りを決めたのだ。ジムに手紙を書いたが返事がない。返事がないということは NO と言われたわけじゃない！ジムに直接会って答えを聞いてみよう！そう考えた著者は、雑誌のジムの特集記事と、ジムの写真集に手書きで書かれていた地図と、写真集に写りこんでいたジムの小屋とおぼしき小屋の写真を頼りに、一度も行ったことがないアメリカの、地図にもほとんどのっていない町、イリーを目指したのだった。

そして、そんな彼を待っていたのは、広い世界と、厳しくも美しい自然、そして、出会った人々の優しさだった。



<子どもに手渡す時のポイント>

巻末に文中に出てきた本が紹介されているので、この本を気に入った生徒にはぜひそれらも手渡してあげてください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。